

# ほんごう



学校 HP

札幌市立本郷小学校  
学校だより  
令和6年7月25日  
No. 5

帰宅時刻(4~10月)→17:00

## 何かに熱中できる夏休みに

教頭 若宮 香織

今年の夏はオリンピック・パラリンピックがフランスのパリで開催されます。前回、東京オリンピック・パラリンピックでは、西矢椛さんが「スケートボード女子ストリート」で13歳という若さで最年少優勝したことが、今でも記憶に新しいのではないのでしょうか。惜しくも今回のパリ大会出場は逃したものの、スケートボードを「楽しむ」ということに変わりは無く、新しい技にも挑戦しているようです。

さて、今年度より熱中症対策の為、夏休みが長くなり、子どもたちにとっては家庭で過ごす時間が長くなりました。学校としては「規則正しい生活」や「学習の復習」を大切にしてほしいところではありますが、本郷小学校の子どもたちには、西矢選手のように、熱中できる好きなものをぜひ見つけてほしいと思います。実際に自分で作ったり、出かけたり、五感を使って体験することで、スマホやテレビゲームの世界だけでは得られない感動があります。先日6年生と一緒に修学旅行へ行きましたが、ニセコでは高所でのアクティビティーに「怖かった、もう無理だと思った。」という子どもたちの声がありました。しかし、中には「でも、楽しい。もう1回行って来る。」と何度も楽しむ人もいましたし、怖い思いをしながらもやり遂げた人も多くいました。この怖い体験も実際にやってみないとわからないことです。

失敗してもあきらめないで続け、さらに挑戦できるくらい好きなものが見つかれば、またそれが得意なこととなり、子どもたちの自信につながるのではないかと考えます。

誰にでも得意なことや苦手なことがあります。苦手を克服することも大切ですが、「自分には頑張っているものがある」という思いは自己肯定感を高め、他のことにも挑戦してみようという意欲につながります。

長い夏休み。子どもたちが素敵な経験ができることを祈っています。